



梅雨へ備え万全

中ノ口川で水防訓練



堤防と水位が同じに 昭和53年6月25日から降り始めた雨は、26日、27日と続き、28日午前6時までに324.5mmを記録し、懸命な防衛活動が続けられました(大郷橋十字路)

忘れるな 53年6・23豪雨水害

本格的な梅雨シーズンを前に五月二十七日、中ノ口川の西萱場堤外地で、本市をはじめ小須戸町、黒崎町、月潟村、味方村、中之口村の消防団員千五百人が参加した水防訓練が行われました。

これは、六月三日分水町で行われる信濃川水防演習へ参加するための事前訓練と併せ、水防技術の向上と、関係機関の水防体制強化を図る目的で開かれたものです。

信濃川下流工事事務所職員の見学で、土のうづめや月の輸法などいろいろな技術を、実戦なみの素早い動きでこなす団員たちでした。

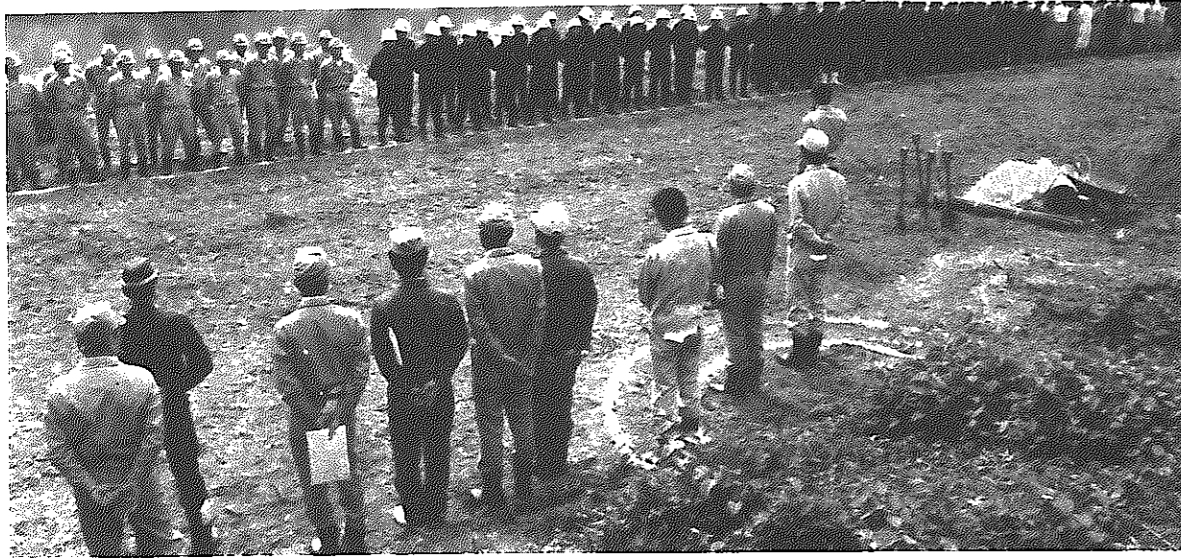


つめる 麻たいに二人一組で土をつめる

指導 土のうのつくり方を、信濃川下流工事事務所職員から教わる



運ぶ 冬服の上に、暑い日とあって、土のう運びはつらい仕事



整列 本市をはじめ、対岸町村の消防団員五百人が中ノ口川を背に、月潟村長の激励を受ける



打つ 堤防の斜面にくいを打ち、築直し工法にいとむ

まちの話題

レスリング日本代表に原さん

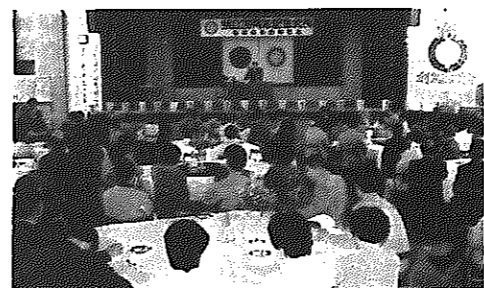


このほど、上浦の原 喜彦さん(日体大三年)が、七月中旬にカナダのセントジョーンズ市で行われるレスリングの「エスキアルワールドカップ大会」(ジュニア世界選手権)六十八キロ級の日本代表選手に選ばれました。この大会のため、オリンピック選手とスパーリングを行うなど、毎日六時間の猛練習に励む原さんは「二十か国から強豪が集まりますが、優勝をねらいたい」と意欲十分。

青色申告推進し二十年

昭和三十九年に、白根商工会を母体として設立され、青色申告制度の普及と指導育成にあたってきた白根市青色申告会。

同会では、五月二十五日、産業厚生会館で二十周年記念式典を開催し、会員の体験発表や記念講演などを行った後、「より健全な申告納税制度の実現にまい進していく」ことを宣言しました。



吉原画伯の力作一堂に

東莞巻出身の吉原芳仙画伯の遺作展が、五月二十九日から三十一日まで産業厚生会館で開かれました。



テープカットにはヒロミ未亡人も新潟市から駆けつけ、市内外から寄せられたびょうぶ、絵、軸など百十六点が展示された会場には、多数の愛好者が訪れました。

合戦の前に凧音頭流し

市老人クラブ連合会芸能部では、六月二日と三日の両日、凧合戦開始前の中ノ口川堤防上で、凧音頭流しを行いました。凧見物に訪れた人たちは、そろいの青いハッピに身を包んだ、四十人のお年寄りのしつかりした踊りに見入っていました。

